

市政をもっと身近に！わかりやすく！

天童市議会だより

2024

11.1

No.186

9月定例会

若き想い
これからのまちづくりにつなげ



イラスト作品名「秋、和む」（題字とイラストの作者紹介は、16ページをご覧ください。）

特集

若い世代の声を
まちづくりに！

市内中高生との意見交換会

特集

若い世代の声をまちづくりに！ 市内中高生との意見交換会

市議会では、若い世代の皆さんにまちづくりや政治、議会への関心を高めてもらうため、市内中高生との意見交換会を行いました。7月23日から10月3日にかけて開催された意見交換会の内容をご紹介します。



■市の未来を担う世代が感じる

「まちづくりの課題」とは

選挙権の年齢が18歳に引き下げられたことを受け、本市の未来を担う中学生や高校生に、まちづくりや政治への関心を高めてもらうとともに、議会の役割や議員の仕事などを広く理解してもらい、議会を身近に感じてもらうため、市内四つの中学校、二つの高校ごとに意見交換会を開催しました。

今回は、中学生、高校生が日ごろ感じている身近なまちづくりの課題として、各学校の生徒が選んだテーマを中心に議員と意見交換を行いました。

中高生が日ごろ市内で生活する中で疑問に思うことや、まちづくりの課題について意見を發表した後、その課題についてグループごとに意見交換を進めていきました。

中高生から、天童市をより良いまちにするために市が行っている施策や、そのPR方法について議員に質問がありました。また、天童市をより活気あふれるまちにするために、若い人に期待することは何かといった積極的な質問も寄せられました。一方、議員からは、「進学や就職で一度天童市から離れたとしても、また戻ってきたくなくなるようなまちになるよう、精一杯頑張っていきたい」と意気込みも語られました。

限られた時間の中での意見交換でしたが、活発な意見交換会となりました。



■中学生から出された主な意見

○天童駅前の商店街が活性化されれば明るくなるし、にぎわいも出てくると思う。

○図書館がリノベーションされるのは楽しみで、ぜひ利用したい。

○市議会と子どもたちが直接関わることができないメルボルボックスのようなものがあれば良いと思う。今回のように議員と話す機会が増えると、より議会が身近に感じられるのではないか。

○今の子どもたちはホームページを見ないで、情報はインスタグラムから得ているので、議会のインスタグラムを作るとダイレクトに意見を交換できるのではないか。

○若い優秀な人を留めておき、市を発展させるために、大学に行きたくても行けない人に独自の補助金制度を作り、利用した人は天童市で働くようなシステムがあるといい。

○学習の向上を促すため、英検試験受験料を全て無償化にしてほしい。

○私たち中学生の意見を議会や市に届けるためにはどのような方法があるのか。



天童四中



天童三中



■ 高校生から出された主な意見

- 人口を増やすためにどのようなことを行っているのか知りたい。
- 県内に学びたい分野がないため県外への進学を考えている。希望する職種や多様な働き方ができるようになってほしい。
- 山形県は都会に比べて刺激が足りないと感じることもある。遊べるところが少ないので増やしてほしい。
- 将来、天童に戻ってきたくなるようなまちななってほしい。
- 市民の要望や意見はどのような形で話し合われているのか知りたい。
- 自転車は歩道を通行してはいけないというルールだが、車道は交通量が多く危険なので、自転車専用レーンを作ってほしい。
- 学校で模擬投票などは行わないが、今後選挙についての学習を予定している。



創学館高校



天童高校



■意見交換会を終えて

今回の意見交換会では、各学校の代表として、中学生34人、高校生19人と意見交換を行いました。市議会では、市内の公民館ごとに議会報告・意見交換会を行っています。参加者が減少傾向にあり、特に若い世代の参加者が少ないことが近年の課題となっていました。若い世代が今、何を感じて、何を求めているのか。そのような視点が、今後のまちづくりに必要なのではないかと感じています。

今回、本市の未来を担う中高生が感じる意見や考えを直接お聴きすると、天童市は住みやすくとも良いまちだが、県内には行きたい大学や就きたい職種が少ないという理由で、高校卒業後は県外に出るつもりであるという意見もありました。都市部への人口流出が課題となる中、天童市に住み続けたいくなるには何が必要か、進学や就職などで一度は市から離れても、また戻ってきたくなるには何が必要かといったことを考える大変良い機会となりました。

また、議員のなり手不足や議会への関心の低下が課題となっている昨今、選挙権を持つ高校生やこれから選挙権を持つ中学生に、議会とは何か、政治とは何かを身近に感じてもらう良い機会になったのではないかと考えています。

市議会では、これからも市民の皆さんの声を聴いて、課題や意見を今後のまちづくりに反映していくできるよう、取り組んでいきます。

9月定例会

インターネットで議会中継

天童市議会

で



検索

<https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/>

【審査日程】

月日	内容
9/2(月)	本会議（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など） 決算特別委員会（正副委員長の互選など）
9/5(木) 9/6(金)	本会議（市政に対する一般質問）
9/9(月)	総務教育常任委員会（付託案件の審査） 環境福祉常任委員会（付託案件の審査）
9/10(火)	経済建設常任委員会（付託案件の審査）
9/11(水) 9/12(木) 9/13(金) 9/17(火)	決算特別委員会 （付託案件の審査、討論、表決）
9/18(水)	予算特別委員会 （付託案件の審査、討論、表決）
9/20(金)	本会議（委員長報告、質疑、討論、表決など）

令和6年度第4回市議会定例会（9月定例会）は、9月2日から9月20日までの19日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の報告案件1件と人事案件1件について同意しました。そのほか、令和5年度決算議案11件、令和6年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案9件及び条例議案3件、一般議案2件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、審査を経て最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に報告案件1件と条例議案1件が上程され、採決が行われました。（採決結果は14ページに掲載してあります。）

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、9月5日・6日の2日間の日程で、8人の議員が行いました。教員の負担軽減を図るためのICTの導入や、7月の豪雨を受けた上下水道の対策などについて、市長や教育長等の見解を求めました。※議員の原稿をそのまま掲載しています。

質問者と質問事項

てんどう創生の会

【遠藤 喜昭 議員】

■市政運営16年を振り返って
■農業振興について

【半田 大介 議員】

■災害時における町内会等での初動体制及び要配慮者の避難支援体制について
■部活動地域移行について

【三宅 和広 議員】

■職員の意識改革について
■教員の負担軽減のためのICT活用について

清新会

【鈴木 照一 議員】

■子どもたちにとってより良い保育環境を
■記録的な豪雨を受けた本市の対策は

■モンテディオ山形新スタジアム建設について

会派に所属していない議員

【横山 愛 議員】

■子どもたちへの教育について
■未来を見据えた本市の果樹栽培について

【斉藤 美千代 議員】

■新型コロナウイルスについて
【野口 さつき 議員】

■带状疱疹の予防について
■難聴で困らないための環境整備で豊かな生活を

【伊藤 和子 議員】

■介護難民についての認識を問う

■予約制乗合タクシー「ドモス」の改善について

1

遠藤 えんどう

喜昭 よしあき

議員



詳しくはコチラ

サクランボを高温障害から守り安定生産を



Q 温暖化が進み、農産物に大きな影響が出ている。特に本市の果樹作付面積の4割を占める特産品のサクランボに大きな被害が出ており、生産者の多くが生産意欲を削がれないか危惧している。本市の高温障害対策について伺う。

A 県では、温暖化による高温障害は来年度以降も懸念されることから、緊急支援パッケージを策定した。その内容は、高温障害への技術的対策としての必要な資材設備の導入、佐藤錦から晩生種への切り替え、営農継続支援などとなっている。市では、かん水施設導入や高温対策に効果があるとされる遮光シートなどの整備に対する支援を行っている。

Q 本市のサクランボをブランドとして確立していく上でも、県からの補助だけでなく、生産者の収入アップにつながる対策、農業団地の造成、農業法人等の誘致など、本市独自の施策を進めていくべきではないか。

A 産地を守っていくため、提案いただいたことも今後検討していく。



2

半田 はんだ

大介 だいすけ

議員



詳しくはコチラ

災害時の自助共助公助 要配慮者の避難支援は



Q 災害発生時における対応として、防災計画の周知と地域住民や町内会との連携強化が必要だと考える。特に日常的な情報共有体制の構築が求められ、各家庭や町内会が果たす「自助・共助」の役割が重要である。自力での避難が困難な要配慮者の方への対応等、行政がこれらに期待する役割について伺いたい。

A 発災時の初期対応について「公助」の対応だけでは限界があるため、地域で互いに協力し合う「共助」が重要と考える。住民への迅速な周知や避難誘導、安否確認がスムーズに行えるよう関係団体と連携し情報提供を行っていききたい。

Q 現在、転入者に配布している防災パンフレットの全戸配布を行う予定はあるか。また、家庭や職場等で適切な避難行動を事前に整理共有する仕組みである「マイ・タイムライン」のさらなる周知と推奨が有効と考えるが、考えを伺いたい。

A 防災パンフレットについては全戸配布を検討し、「マイ・タイムライン」はさらなる周知に努めていく。



3

三宅 みやけ

和広 かずひろ

議員



詳しくはコチラ

ICTを活用して 教員の負担軽減を



Q AI（人工知能）がテストの採点を支援するデジタル採点システムを導入する自治体が出てきている。このシステムの導入により、教員の負担軽減が図られるとされている。本市においても、こうしたシステムを導入してはどうか。

A 導入に伴い必要となる機器や現行のシステムとの兼ね合い、導入することで教育上損なわれる効果等について検討する必要がある。

Q 特別支援教育を支援する教育ソフトは、特別支援教育に携わる先生方の知識の獲得や、個別の教育支援計画の作成、日々の指導などの業務を包括的にサポートするものである。本市においても、こうした教育ソフトを導入してはどうか。

A 教職員の業務の負担軽減を図り、市全体の特別支援の教育力を向上させる上で、ソフトの導入は効果的であると捉えている。現在、市内4校でこのソフトの試行導入を実施しており、実施結果を基に、市全体での導入に向けた効果検証を進めていく。

4

鈴木 照一 議員

議員



詳しくはコチラ

記録的な豪雨による
断水対策の拡充を



Q 近年の記録的豪雨による市民生活への影響が心配される。本市は平成25年7月の大雨で村山広域水道が給水停止を実施したことにより、最長8日間の断水を経験した。今夏の7月25日と26日の豪雨の際も村山広域水道は給水制限を実施した。村山広域水道に100％依存している本市は、更なる断水対策を強化すべきではないか。

A 7月25日から26日にかけて県企業局が給水制限を行った原因は、豪雨により取水元である寒河江川の濁度が急上昇したためである。県では大規模な断水に至った平成25年度以降、浄水能力強化の工事や連絡体制の強化、合同訓練などを行い、断水回避対策の強化に取り組んでいる。また、本市独自の対策として高嶺水源地を非常用水源として位置づけ、村山広域水道が給水制限を行った場合には稼働することとしている。このような対策により、今回の大雨において、本市の断水リスクは低減されたものと認識している。

馬 角行 龍王 飛車 金 香車 金 桂馬 銀将 金将 王将 歩兵 馬 角行 龍王 飛車 金 香車 金 桂馬 銀将 金将 王将

5

横山 愛 議員

議員

議員



詳しくはコチラ

小中学校でのICT
機器の活用状況は



Q 本市の小中学校におけるICT機器の活用状況について伺う。

A タブレットなどのICT機器を勉強のために30分以上使用している児童の割合は57・4％で全国平均を13ポイント以上上回っている。また、教員のICTを活用した校務効率化率も全国平均の約2倍という高い結果である。本市全体のICT機器の活用は十分に進んでいる。

Q 学校、学級でのICT利用頻度に差はないのか。また、学校間でも、毎日タブレットを持ち帰る学校もあれば、置いて帰る学校もあるようだ。本市におけるICT利活用の格差の現状と対策について伺う。

A 学校や学級の方針により、ICT機器の活用の仕方に差が生じている状況は把握している。学校間で極端な格差が生じないよう、市教育委員会が主体となつて、ICT担当者や研修会を開催している。今後とも子どもたちがよりよい未来を描いていけるよう、ICTを含めた教育環境の整備に努めていく。

馬 角行 龍王 飛車 金 香車 金 桂馬 銀将 金将 王将 歩兵 馬 角行 龍王 飛車 金 香車 金 桂馬 銀将 金将 王将

6

斉藤美千代 議員

議員



詳しくはコチラ

新型コロナウイルス定期接種への対応を伺う



Q 10月からの定期接種に自己増殖型レプリコンワクチン「コストイベ筋注」が使用されることが想定されている。このワクチンは、mRNAが増殖し続けること、体内で変異すること、被接種者から周囲の人へ伝播すること、mRNAがウイルス化することなど懸念されている。本市で使用されるワクチンの製薬メーカーと種類を伺う。

A 現在のところ国から示されていない。

Q 使用されるワクチンの成分、効果、副作用について確認しているか。また、そのような情報を市民に開示する予定はあるか。

A 医療機関で行う個別接種を予定しており、使用するワクチンは接種医療機関が選定し調達する。ワクチンの効果や副反応等についての被接種者への説明は、ワクチン接種時に医療機関において行う。市が情報提供することは考えていない。

Q 医師にはインフォームドコンセントの徹底と、接種後に体調を崩したら市に連絡することを通知していただけるか。

A 市からお願いしていく考えである。

7 野口さつき 議員

ヒアリングフレイル
予防で豊かな生活を



詳しくはコチラ

Q ヒアリングフレイルとは、聴覚機能の衰えをいい、聴覚の機能が低下することによって生じるコミュニケーションの問題や、QOLの低下などを含めた、身体の衰え（フレイル）の一つである。聴力が低下した状態になると認知症傾向と勘違いされるケースも多く、周囲も本人も気づきにくい特徴がある。また、ヒアリングフレイルをそのままにしておくこと社会的に孤立する可能性や、認知症発症のリスクも高まる。そこで、難聴で困らない、豊かな生活を送るためにもヒアリングフレイル予防が大事である。本市のヒアリングフレイルの予防と対策は。また、早期発見のために聞こえの状態を簡易的にスクリーニングするヒアリングフレイルチェックを導入してはどうか。

A 市民へのヒアリングフレイルの理解を深めるため啓発に努める。また、ヒアリングフレイルの早期発見のアプリについても他市の取組みを参考にしながら検討していく。



8 伊藤かずこ 和子 議員

介護難民を
出さない施策を



詳しくはコチラ

Q 介護支援が必要な状況にもかかわらず、介護人材・介護施設不足や、家族が遠方に住んでいて介護が受けられない人を介護難民というが、併せて費用負担の問題も大きな要因となっている。介護難民の現状をどう捉えているか。適切な介護支援がないと介護度が上がることもなる。

A 介護が必要な方の情報は、ケアマネジャーから聞き取りを行っている。経済的な理由で介護保険サービスが受けられない場合は、市や地域包括支援センターなどにご相談いただくよう周知に努める。

Q 国の制度だが、安心して介護が受けられるよう制度の改善を国に働き掛けるのが地方自治体の任務であり、市長としての仕事では。

A 全国市長会で、令和6年6月、持続可能な介護保険制度の確立と財政措置の充実を図ること、低所得者対策の財政措置を講じることの提言書を国に出している。



決算特別委員会 正副委員長を互選

9月2日に開催された決算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

◇委員長 佐藤 俊弥
◇副委員長 滝口 茂之

なお、決算特別委員会は、議長及び監査委員を除く全議員で構成されています。

財産区管理 委員を選出

欠員補充に伴い、大字高揃有財産区管理会委員に石山昭夫氏を選出しました。

教育委員会委員の 任命に同意

現教育委員会委員の工藤昭広氏（南小畑）が、令和6年9月30日をもって任期満了になることに伴い、同氏を再び教育委員会委員に任命することに同意しました。

令和5年度 決算

一般会計・特別会計

歳入 464億1177万円・歳出 432億8419万円

9月定例会の決算特別委員会では、令和5年度の決算について審査が行われました。審査で交わされた質疑の主な内容についてお伝えします。

青少年ボランティア を応援

Q ボランティア支援事業費補助金の交付を受けた事業の内容は。また、学校が実施した活動だけが対象となるか。

A 市内の高校の生徒と教諭が塩竈市の離島を訪問し、高齢者宅の清掃活動や地域住民との交流活動を行った。コロナ禍で一時中断していたが、東日本大震災を機に長年続いてきた活動である。補助対象は学校に限らず青少年で構成する団体も対象としている。



避難生活の 改善に向けて

Q 防災対策事業で昨年度に購入したワンタッチパーテーションの数は。一定数が必要と考えるが、今後の考えは。

A 15セットを導入。年次計画で順次数を増やしていきたいと考えている。段ボールのパーテーションは重量や耐用年数の面で課題があるため、備蓄でなく協定を締結している企業から災害発生時に協力を得るようにしている。



▲備蓄を進めるワンタッチパーテーション

安全な給食 づくりのため

Q 食物アレルギーの調査結果はどのようなものか。

A 食物アレルギーを訴える児童生徒数は、延べ557人（実人数358人）。卵と乳のアレルギーに対しては、代替食を用意するため綿密に打ち合わせを行った上で提供している。

タブレットを大切に

Q 児童生徒が使うタブレットの画面保護フィルムの普及状況と効果は。

A 令和5年度で全ての小中学校に画面保護フィルムの配布を完了した。令和5年度の破損は、令和4年度と比較して小学校で25件、中学校で14件減少しており、効果があったと考えている。

地域の敬老会に

Q 市主催から地域団体の主催に見直しを行った敬老会事業の状況は。

A 対象者（数え年77歳以上）8160人に対し交付金の交付人数が6698人で、人数ベースの実施率は約82%。祝品等の配布のみの事業も対象としている。



▲和気あいあい 地域の敬老会

豊かなまちを目指し

Q 市内の工業団地の従業員数は、令和5年度の実績で令和6年度の目標値をすでに超えているが、市内の在住者数は。

A 市内3カ所の工業団地の従業員のうち市内在住者は466人。内訳は荒谷工業団地は838人中299人、天童インター産業団地は527人中146人、山口西工業団地は83人中21人となっている。



▲企業の進出が進む山口西工業団地

おいでよ！天童に

Q 住むならてんどう！新築住宅取得応援事業の利用者で市外から来た方の内訳は。また、課題をどのようにとらえているか。

A 山形市27世帯、東根市9世帯、寒河江市5世帯、尾花沢市・新庄市・中山町各2世帯、村山市・鶴岡市・真室川町・川西町各1世帯。県外は仙台市1世帯、東京都2世帯、長崎県1世帯で、合計55世帯。

現在は県内の他市町からの異動が多くを占めているため、今後は県外からの移住者を増やすように取り組みたい。

ご遺族の手続き負担を軽減

Q おくやみ窓口の実績と、その評価は。

A 令和6年1月15日から運用を開始し、令和5年度は25件の利用があった。利用者からは「スムーズに手続きができた」と好評を得ている。今後も改善を図りながら、サービスの向上に努めていきたい。



▲ご遺族のお手続きをサポート

一般会計 13億1758万円を可決【9月補正】

旧寺津児童館を再生

Q 放課後児童クラブ施設整備工事費の内容は。

A 旧寺津児童館を放課後児童クラブとして利用するために必要な工事を行うもの。主な工事は、トイレ改修、内装の改修、エアコンの設置、照明のLED化、遊具の撤去、駐車場の整備など。



▲放課後児童クラブとして活用の予定

9月定例会の予算特別委員会では、提出された補正予算について審査が行われました。今回の補正予算では、福祉灯油の助成額を増額するための費用や、予算を超える申込みのあった中古住宅取得の補助金などが計上されています。

予算特別委員会で交わされた質疑の主な内容についてお伝えします。

寒い冬もあたたかく

Q 福祉灯油の購入費助成金の増額の内容と対象者は。

A 物価高騰を受けて、1世帯当たり5000円だった助成額を1万円に増額する。対象は住民税が非課税の世帯で、高齢者や障がいのある方などの世帯。2700世帯ほどを見込んでいる。

高まる意識 地震への備え

Q 木造住宅耐震診断の対象と委託料を増額する背景は。

A 平成12年5月31日以前に着工された木造の在来軸組工法による平屋または二階建ての戸建住宅が対象。申込みが多く寄せられたため、今回5件分の費用を増額する。申込みが増えた背景としては、令和6年1月1日に北陸で発生した地震の影響もあると考えている。



中古住宅を有効活用

Q やっぱりてんどう！中古物件等取得支援補助金を増額する理由は。

A 当初予算では30件分、1000万円を計上していたが、非常に好評で5月には予算の限度に達してしまった。市外からの転入者も多く、申請できる期間が居住から1年以内の要件もあることから、予算を増額するもの。



常任委員会 議案を審査しました

9月定例会では、議案5件について各常任委員会へ審査を付託しました。

また、最終日20日の本会議では、各委員長が審査状況について次のとおり報告しました。



総務教育

消防団員の出勤報酬を増額

消防課長 消防団員の出勤

手当と訓練等手当を出勤報酬として定めることで、消防団員の処遇改善を図るもの。出勤手当は増額し、従事した時間が4時間以内の場合は1回4000円を、4時間を超え8時間以内の場合は1回8000円を支給する。訓練等手当は、訓練等の活動に従事した団員に対してのみ1回2000円を支給する。

Q 8時間を超えた場合の出勤手当の算出方法は。

A 団員を交代させることが原則だが、超過して従事する必要がある場合は、8時間までの8000円に加え、超過した時間が4時間までは4000円を、超過した時間が4時間を超えて8時間までは8000円を上乗せして支給する。



環境福祉

マイナ保険証に対応した国民健康保険制度へ

保険給付課長 令和6年12

月2日から現行の健康保険証の新規発行を終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行することに伴い、天童市国民健康保険条例の被保険者証に関する部分を削除するもの。

Q 従来 of 被保険者証が廃止されることにに対し、不安を感じている高齢者が多い。今までもおり安心して医療機関を受診できるよう、周知する方策はどのように考えているのか。

A 今後、国からの通達や指示が具体的なものになる予定であるので、市民に対してより分かりやすい説明が可能になると考える。引き続き、市民が安心して医療機関を受診できるよう努めていく。



経済建設

排水設備工事責任技術者の兼任が可能に

上下水道課長 国が進めて

いる構造改革の推進に伴う標準下水道条例の改正を受け、天童市下水道条例の一部改正を行うもの。排水設備工事責任技術者を営業所ごとに専属するものから兼任するものに改めるとともに、県内における営業所での兼任を妨げないこととする改正を行うもの。

Q 今後、排水設備工事責任技術者はどの程度工事に関わるのか。常時工事現場にいなくてもよいのか。

A 国では、営業所ごとに排水設備工事責任技術者を置かず、通信機器を使って現場を確認してもらうことを想定しているが、下水道の工事は現場がある作業のため、まだ実態としては一つの工事現場に常駐している場合が多いと認識している。



課題と進捗状況を調査

経済建設常任委員会

9月17日、高温障害によるサクランボの被害状況、三郷堰土地改良区内の田んぼダム、(仮称)天童南スマートインターチェンジの進捗状況について、所管事務調査を実施しました。

サクランボの被害状況に関しては、市内の状況と今後の対策について質疑を行いました。

田んぼダムの現地視察では、近年の異常気象による豪雨対策として有効な手段であるものの、費用や農家の方の協力などの点で課題があることなどを伺いました。

(仮称)天童南スマートインターチェンジについては、事業の進捗状況と今後の進め方について説明を受けました。

討 論

9月20日の本会議において、次の請願1件について討論が行われました。

▼請陳第2号

国に対し「自己増殖型mRNAワクチン（レプリコンワクチン）を含むmRNAワクチンの国民への接種に中止を求める意見書」の提出を求める請願書

〈賛成〉齊藤美千代議員

新型コロナウイルスmRNA接種が行われてきたが、健康被害救済制度申請が後を絶たない状況にある。甚大な被害であるにも関わらず、10月から開始される定期接種に自己増殖型レプリコンワクチン（コスタイベ筋注）が使用される。これは、タンパクmRNAが自己増殖し続けるよう設計されたものである。体内で増殖されたスパイクタンパクが他者に伝播し、接種していない人も健康被害を起こすことが懸念されるため中止を求める。

提出された議案とその結果

令和6年度第4回定例会に提出された議案とその結果は、次のとおりです。

第4回定例会（9月2日～9月20日）〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
報第8号	物損事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報 告	議第17号	令和6年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
報第9号	物損事故に係る損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報 告	議第18号	令和6年度天童市財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第1号	令和5年度天童市一般会計決算	認 定 （全会一致）	議第19号	令和6年度天童市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第2号	令和5年度天童市国民健康保険特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第20号	令和6年度天童市市民墓地特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第3号	令和5年度天童市用地買収特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第21号	令和6年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第4号	令和5年度天童市財産区特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第22号	令和6年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第5号	令和5年度天童市介護保険特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第23号	令和6年度天童市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第6号	令和5年度天童市市民墓地特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第24号	令和6年度天童市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
認第7号	令和5年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第25号	天童市特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
認第8号	令和5年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認 定 （全会一致）	議第26号	天童市下水道条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
議第13号	令和5年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 （全会一致）	議第27号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決 （全会一致）
議第14号	令和5年度天童市市民病院事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 （全会一致）	議第28号	市道の認定について	原案可決 （全会一致）
議第15号	令和5年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 （全会一致）	議第29号	天童市教育委員会委員の任命について	同 意 （全会一致）
議第16号	令和6年度天童市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）	議第30号	天童市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 （全会一致）
			議第31号	天童市長及び副市長の給料の減額に関する条例の設定について	原案可決 （全会一致）

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致）

議 案	議席番号	氏 名																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
請陳第2号 国に対し「自己増殖型mRNAワクチン（レプリコンワクチン）を含むmRNAワクチンの国民への接種に中止を求める意見書」の提出を求める請願書	氏 名	半田大介	横山愛	駒延法子	齊藤美千代	滝口茂之	林 正人	佐藤孝一	野口さつき	古澤 義弘	笹原 隆義	三宅 和広	遠藤 喜昭	佐藤 俊弥	武田 正二	水戸 芳美	村山 俊雄	狩野 佳和	鈴木 照一	水戸 保	伊藤 和子	遠藤 敬知
	会 派	大	無	無	無	清	て	清	無	清	て	て	て	清	清	清	無	無	清	清	無	無

※ ○＝賛成、×＝反対、議＝議長（議長は採決に加わらない。）

※ 会派：清＝清新会、て＝てんどう創生の会、無＝会派に所属していない議員（会派は議決時の所属）

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は1件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
国に対し「自己増殖型mRNAワクチン（レプリコンワクチン）を含むmRNAワクチンの国民への接種に中止を求める意見書」の提出を求める請願書	医療・山形委員会 委員長 安宅 泰	環境福祉	不採択 (賛成少数)

議会のうごき (7月16日～10月15日)

■7月

- 16日 議会運営委員会
- 22日 市長要請環境福祉常任委員会(天童市民病院の経営状況について)
- 23日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
天童四中生徒と市議会議員との意見交換会
- 25日 石川県かほく市議会視察来童
- 25日～26日 議会運営委員会先進地視察(神奈川県茅ヶ崎市、埼玉県所沢市)
- 30日 福岡県柳川市議会視察来童
- 30日～8月1日 会派てんどう創生の会先進地視察(石川県小松市、福井県永平寺町・福井市)

■8月

- 1日 千葉県八街市議会視察来童
- 6日 天童一中生徒と市議会議員との意見交換会
- 7日 市長要請各派代表者会
各派代表者会
神奈川県小田原市議会視察来童
- 8日 山形県市議会議長会議員研修会
- 8日～9日 天童夏まつり
- 9日 市長要請全員協議会
議会運営委員会
- 20日 宮城県大崎市議会視察来童
- 26日 議会運営委員会
- 27日 天童高校生徒と市議会議員との意見交換会

■9月

- 2日～20日 第4回市議会定例会
- 2日 広報委員会
- 6日 市長要請各派代表者会
各派代表者会
- 9日 市長要請総務教育常任委員会(山形連携中枢都市圏連携事業の令和5年度実施結果について、市立図書館リノベーション事業に係る設計(案)について)
市長要請環境福祉常任委員会(特別支援学校通学支援事業の拡充について)
- 17日 経済建設常任委員会所管事務調査(高温障害によるサクランボの被害状況について、三郷堰土地改良区内の田んぼダムに関する現地視察、(仮称)天童南スマートインターチェンジの進捗状況について)
- 20日 広報委員会
- 26日 天童二中生徒と市議会議員との意見交換会
- 27日 議会運営委員会
創学館高校生徒と市議会議員との意見交換会

■10月

- 3日 広報委員会
天童二中生徒と市議会議員との意見交換会
- 4日 群馬県玉村町議会視察来童
- 8日 各派代表者会
- 9日 大阪府堺市議会視察来童
- 9日～11日 会派清新会先進地視察(長野県長野市、石川県金沢市、新潟県糸魚川市)
- 11日 埼玉県北本市議会視察来童
- 15日 広報委員会

お詫びと訂正

令和6年8月1日発行の議会だより185号12ページ中に誤りがありました。お詫びして訂正します。正しくは次のとおりです。

**(正) 救助工作車を更新
(誤) 救助支援車を更新**

会派構成の変更

令和6年10月1日から、会派の構成が次のように変更になりましたのでお知らせします。

会派	議員氏名
清新会	水戸保 ○鈴木照一 水戸芳美 武田正二 佐藤俊弥 古澤義弘 佐藤孝一 滝口茂之 駒延法子
てんどう創生の会	○遠藤喜昭 三宅和広 林 正人 半田大介

※会派に属さない議員：遠藤敬知(議長)、伊藤和子、狩野佳和、村山俊雄、笹原隆義、野口さつき、斉藤美千代、横山 愛

※○は会派の代表

今回の表紙(題字・イラスト)

作者紹介



▲樋渡さん(前列右から4人目)、仲野さん(前列左から4人目)と一中美術部の皆さん

【題字】^{ひわたり}樋渡 ^{みなみ}南さん(一中3年)

- Q 作品の説明をお願いします。
- A 力強く、文字のバランスに気を付けて書くことを工夫しました。
- Q より良いまちづくりのために一言。
- A フルーツや美味しい食べ物をもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。

【イラスト】^{なかの}仲野 ^{もみい}萌実さん(一中3年)

- Q 作品の説明をお願いします。
- A 黒や青、茶などの暗めの色を使い、秋の落ち着いた雰囲気表現しました。
- Q より良いまちづくりのために一言。
- A 天童市は、自然が豊かでとても暮らしやすいまちです。誰もが楽しめる場所なので、ぜひたくさんの人にきてほしいです!

12月定例会の日程

中継あり

12/10	火	本会議(初日)	
11	水		
12	木	本会議(一般質問)	
13	金	本会議(一般質問)	
14	土		
15	日		
16	月	常任委員会	
17	火	常任委員会	
18	水	予算特別委員会	
19	木	予算特別委員会	
20	金		
21	土		
22	日		
23	月	本会議(最終日)	

※請願の締め切りは12月2日(月)正午の予定です。
 ※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

旬のトピックス

YouTubeチャンネルを開設しました!

市議会では、インターネット上で本会議の映像を配信していますが、8月からYouTubeチャンネルでの配信に切り替えられました。これまでどおりスマートフォンやタブレット、パソコンなどから本会議の様子を視聴できますので、ぜひご覧ください。

視聴方法

YouTubeのサイトから視聴

- ① YouTubeのサイトで「天童市議会」を検索
- ② 動画一覧から見たい動画をクリック



天童市議会公式YouTubeチャンネルはこちら

市ホームページから視聴

市ホームページの議会のページで生中継や録画中継の中から見たい内容をクリックすると、外部サイト(YouTube)につながりますので、再生ボタンを押してください。



インターネットで議会中継

天童市議会 で検索

<https://www.city.tendo.yamagata.jp/congress/>

市議会公式YouTubeチャンネルをチャンネル登録することで、定例会や臨時会の配信が行われる際に、お知らせを受け取ることができますので、ぜひ登録してください。

発行 天童市議会 天童市老野森二丁目1番1号 電話 023(654)1111
 編集 天童市議会広報委員会 印刷 大場印刷株式会社

【広報委員会】委員長 鈴木 照一 副委員長 佐藤 孝一 委員 野口さつき・滝口 茂之・駒延 法子・半田 大介



この広報紙は環境に配慮した森林認証紙・植物油インキを使用しています。